



日本共産党区議会議員
こんにちは伊藤和彦です

自宅・足立区花畑6-7-23
 足立区役所・電話3880-5111(内線4650~4654)
 日本共産党議員団・直通・3880-5770~1
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

えっ!? 14回の妊婦健診 無料じゃないの??



「一定金額を上限として助成」って??

4月からの妊婦健康診査の公費負担14回への拡大は、切実な区民要望として議会できりかえし取り上げられ、また陳情も提出されて実施されたもので、区民にとって大きな支え・喜びとなっています。ところがこれに関して3月末、一部自己負担が生じる可能性のあることが明らかになりました。

理由としては、全部的に公費負担を14回に拡大する自治体が増え



る中で、この公費負担制度に関する都の文書に、「一定金額を上限として助成するもの」であると書き込まれ、その解釈として、検査費用が上限を超えた場合は、受診票に記載されている検査項目であっても自己負担となるからだということでした。

しかし、区民にとっては、受診票に記載されている検査項目は無料で受けられるのが妊婦健診の公費負担制度であり、それが14回に拡大されたところに価値があるわけで、一部であっても自己負担が生じるようなことがあってはならないと考えます。

さっそく区に申し入れ

日本共産党区議団



これに対し7日、私たちは、さっそく区(足立区衛生部)に、申し入れを行いました。

その内容は、「受診票に記載されている項目は無料で受けられ」、区民が自己負担の発生しないように、足立区衛生部が関係機関との協議を行な

うなど、区として、あらゆる手立てをとることです。区(衛生部長)からは、「そのようにやっていきたい」「(記載項目)が無料で受けられるように、今調整中」との回答でした。

区議団が「区内の産婦人科は(無料)ほぼ合意したと聞いているが、大病院が問題なのか?」と聞くと、区は「それも確実なものにするため、

4月からはじまった後期高齢者医療制度に怒り沸騰!

「何で勝手に『後期高齢者』って言われなければならぬの?」「『後期高齢者医療』の次は『サヨウナラ医療制度』?」「姥捨て山医療制度」

「世界に例のない、年齢で医療を差別する後期高齢者医療制度が今日からスタート。国民の怒りが沸騰しています。」

慌てた福田首相はネーミングを「長寿医療制度」に変えましたが、中身は何も変わっていません。こんなバカにした話はありません。

「政府の言葉の使い方は、世の中の常識と違っている。『福田さんは、あわてて『長寿医療制度』と言いかえたけれど、自民・公明政権の『長寿』は『懲受』の意味」とは、渡辺修次元区議。

「どの党がどういう態度なのか教えてほしい」という声がありますので、区議会の条例への態度を表にして掲載しました。



「足立区後期高齢者医療に関する条例」にたいする各会派の態度

自民	公明	共産	民主
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

妊婦のみなさん

「ご注意ください。」

14回分が無料になっても、「無料」なのは、受診票に記載されている項目です。他に、AIDSや項目外の血液検査、超音波検査(前・後期)

回は無料)などを受けた場合は、その分は自費になります。トラブルを避けるためにも、よく担当の医師から受診項目について、相談をしていただけたらと思います。日本共産党区議団は、これからも「安心して出産できる」しくみづくりにむけて力をつくします。

約束どおり無料で十四回受けられるようにがんばります。みなさんの声をお寄せください。

